



平成21年(2009年) 6月18日発行

# ふくしまファンクラブ 会報

第9号

ふくしまファンクラブ会報をリニューアルしました。紙面も8ページに倍増、旬のふくしま情報をお楽しみください。リニューアル号の巻頭を飾るのは「もも」です。JA新ふくしま営農部直販課 販売営業担当課長の齋藤実さんと、同課販売営業係 橋本吉弘さんにとっておきのお話を伺いました。

## ◆ 百花繚乱 ◆

福島県はご存じのとおり「くだもの王国」。中でも「もも」の収穫量は全国第二位を誇ります。福島市の西側に広がる吾妻連峰の麓を走る、約14kmの「フルーツライン」では、春は一斉に花が咲き誇り、収穫期を迎えると甘い香りが車窓から舞い込みます。齋藤課長から面白いお話を伺いました。

「福島市では桜の花の後、「もも」「なし」「りんご」の3つの花が同時に見られますよ。」  
全国広しといえども同時に見られるのは福島市だけだそうです。めったに見る



ことのできない風景を現地で是非ご覧ください。

また、もものように種が一つの果物（他にはサクランボやすももなど）は開花時期から結実までの期間がおおよそ計算できるそうです。福島県のももの代表的な品種「あかつき」では開花日から100〜110日。

JA新ふくしまのホームページには、ももの生育状況などが営農情報として掲載されています。今から実が結実する夏が待ち遠しいですね。

## ◆ ももを楽しむ ◆

福島県産ももの品質は、福島県ブランド認証ももを筆頭に、手間暇かけて丁寧に育てられていますので、一つ一つが質感、色味、香り、食味とも高品質。肌で



①同課清野さんとともに会員プレゼントの「もも日和」をPRする齋藤課長（詳しくは8ページ）。  
②たわわに実る「あかつき」。  
③春には桃源郷が広がります。



目で鼻で舌で楽しむことができます。

美味しい食べ方を橋本さんに伺いました。

「冷蔵庫に長く入れて保存すると風味が落ちてしまいます。食べる直前（1〜2時間前）に冷蔵庫に入れて冷やすと美味しく食べられますよ。また、ももは保存が利きませんので、食べる分量に合わせてお買い求め

になるのが良いでしょう。」

良い素材を美味しくいただくためには、食べる前のひと手間がかかせませんね。

## ◆ 驚きももの木！ ◆

### “眠るもも”

ももは、私たちでも育てられるのでしょうか？ご自宅でもももを栽培されている齋藤課長に伺いました。



## ～耳より情報～

### くだもの木オーナー制度

福島市飯坂地区では、果樹専業農家によるくだもの木オーナー制度を実施しています。年間契約で「木」のオーナーとなり、花見（人工受粉）、摘果、収穫などを体験できます。ご自身の木になった実は全てお持ち帰りいただけます。最低保障収穫量も定められており、共同購入も可能です。あなたも、ももの木のオーナーに！（他にりんご、ぶどう、なしもあります。）オーナーには飯坂温泉宿泊割引等の特典もあります。詳しくは、飯坂温泉観光協会までお問い合わせください。

〒960-0201 福島県福島市飯坂町十綱町3  
電話024-542-4241

### 「あかつき」が東京にやってきます！！

7月23日（木）～28日（火）の6日間、渋谷の電力館にて「電気ふるさとイベント福島県in電力館」を実施します。会場ではもも（あかつき）の試食、販売の他、ミニ田んぼ・ミニ畑が登場！新鮮な福島の幸を味わえます！

場所 電力館 東京都渋谷区神南1-12-10

時間 10:00～18:00

詳しくは、

J A新ふくしま直販課 電話024-553-3657、  
電力館 電話03-3477-1191

「桃栗三年柿八年」と言われます。時間もかかりますし、ある程度の土地も必要となりますので、一般の方には難しいかもしれせん。「特に、実を大きくするために開花前に行う摘蓄は、十萬個もの蓄から何百個かを残して摘み取る作業ですが、この作業を木が眠っている冬の間にやるのです。」

やはり、栽培は難しいですよですね。ところで、木が眠るといのはどういうことなのでしょう。

「ももの木は、11月から2月にかけて根の活動を休止するのです。」

ももは、冬の間はじつと

翌年の春を待ち、一年のサイクルの中で甘みを増してくるのですね。

### ◆「あかつき」

#### 誕生秘話◆

福島県産のブランド認証もも「あかつき」は、その誕生までに様々な苦労がありました。

国の果樹試験場で従来のももより味も良く日持ちもする「レ-13号」という品種が育種されました。昭和34年には、全国12県で試作が進められました。小玉であったため、商品化がきらめられてしまいました。唯一残った福島県では、生

産農家と県の試験研究機関が共同で栽培技術の検討を進め、20年後の昭和54年に「あかつき」としてデビューを果たしました。

「あかつき」は福島市の伝統行事「信夫三山“暁”参り」がその名の由来です。

何気なく食べられているものにも先人達の努力の結晶が詰まっているのです。私たちの身近なものにあらためて着目してみました。何気なく食べているものにも歴史や生産者の苦労が詰まっていることがわかりました。今年の夏は是非とも福島のももを美味しく食べてください！

尾瀬国立公園「田代山」



+++ ふるさと福島 +++

## 旬の話題

今回は、福島県の南西部に位置する「南会津町」のやまなみ泊覧会について紹介します。

「ただいまを言いたくて、おかえりを聞きたくて。」をキャッチフレーズに今年度より南会津やまなみ泊覧会（やまはく）がスタートしました。

### ● 南会津町 ●

平成18年3月に田島町、館岩村、伊南村、南郷村が合併して「南会津町」が誕生しました。

尾瀬国立公園に含まれる田代山・帝釈山など、越後山脈から連なる山々に囲まれた地域です。

古くから会津の玄関口として政治・経済、交通の要所であり、鎌倉時代には田島に嶋山城が築城されています。後に、直江兼続の弟、大國実頼も城代として入城し、大改修を行いました。

江戸時代には、一帯は幕府の直轄地「南山御蔵入領」となるなど、長い歴史を背景に、町内各地に伝統文化が残されています。



7月～

### やまはく周遊バス

10月までの土・日・祝日の40日間、田島、館岩、伊南、南郷の4地域をめぐる周遊バスを運行します。

予約不要。一日あたり、右周り3回、左周り2回運行します。



### やまはくスタート

「やまなみ」は、町民の暮らしに息づく貴重な財産であり、また、観光振興にも大きく寄与する資源でもあります。「南会津やまなみ泊覧会」は、「やまなみ」が授けてくれた自然や伝統行事、郷土芸能、食、風習、人情などの「おもてなし」で、訪れた人々をお迎えるものです。今年はそのスタートの年と位置づけています。

### 主なみどころなど



**大桃の舞台**  
民衆の楽しみであった村芝居の舞台。8月1日には南会津郷土芸能が演じられます。



**会津田島祇園祭**  
(毎年7月22日～24日に開催)  
800余年の伝統を誇り、23日の本祭の朝には七行器(ななほかい)行列がおこなわれます。

**駒止湿原**  
標高1000mの高層湿原。7月にはワタスゲ、ニッコウキスゲが見頃になります(写真はニッコウキスゲ)。



**旧山王茶屋**  
山王峠の手前にあった茶屋が奥会津博物館に移築されています。ここでは地元の食材を使った郷土料理も楽しめます。



**前沢曲家集落**  
豪雪地での暮らしが曲家を生み出した。



**温泉**  
山々に囲まれた温泉は疲れを癒すとともに地域の人々との交流の場です(写真は南郷のきらら2009)。



**ぼんでい餅**  
炭火で焼かれたじゅうねん味噌が香ばしく食欲を誘います。



**裁ちそば**  
生地を裁つように切る様子からその名が付けました。そば粉100%のおしさを楽しみ下さい。



### 〇プレゼントコーナー

南会津やまなみ泊覧会の開催を記念し、3名様に南会津町特産の「南郷トマト」をプレゼント！応募方法は8ページをご覧ください。



南郷トマトイメージ

この町には、健康を回復し、ストレスを解消する力があります。「やまはく」は、この地域を愛してくれる方々とともに「癒しのふるさと」を創り上げていこうというものです。ぜひ、南会津町にお越しいただき、心温まる人情や四季折々の自然を楽しんでください。

### 南会津町 湯田芳博町長





ふくしまをしる

# 識

夏の風物詩の一つといえ  
ば高校野球。テーマソング  
を聴くだけで胸が熱くなる  
人も多いと思います。この  
『栄冠は君に輝く』を作曲  
したのは、福島市出身の偉  
大な作曲家、古関裕而（本  
名：古関勇治）です。今回  
は、昭和を通して活躍し、  
現在も日本人の心を熱くす  
る名曲を多く残した古関裕  
而をご紹介します。

## 音楽との出会い

古関裕而は1909年（明



## ふくしま歴史探訪

### 古関裕而氏

治42年）福島市大町にあつた「喜多三」呉服店の長男として生まれました。音楽好きの父親がよく蓄音機でレコードをかけていたため、小さい頃から音楽を聴いて育ちました。小学校時代の担任の先生も大変な音楽好きだったこともあり、さらに興味を持つようになり、楽譜を、母親に買ってもらった卓上ピアノで弾くようになり、小学校卒業時には自作の曲を五線紙に書けるようになつていきました。その後、山田耕筰を真似ながら、独学で音楽を学んでいきました。

## コロムビア専属へ

家業を継ぐために入学した福島商業学校時代にも音楽への情熱は益々高揚し、卒業後勤務した川俣銀行時代に、ついに山田耕筰宛に自作の曲と手

紙を送りました。

裕而はその後何回か山田との手紙のやりとりをしましたが、山田の言葉に励まされ、自信を深めていったようです。1929年（昭和4年）には、裕而の作曲した『竹取物語』がロンドンの楽譜出版社主催の作曲コンクールで二位に入賞し、一躍時の人となりました。翌年には山田の推薦によりコロムビアの専属作曲家として迎えられるようになり、上京しました。生涯の伴侶、金子と結婚したのもちょうどの頃です。

## 国民に愛される音楽

裕而がコロムビア専属となった頃、日本は戦争の時代に突入しつつあり、裕而のもとには、戦時歌謡の依頼が多くなりました。暗い世相の中、『露営の歌』や福島市出身の野村俊夫作詞による『暁に祈る』などの名曲が多くの人々に支持されました。

◆◆◆山田耕筰  
1886年（明治19年）東京生まれ。大正、昭和期に活躍した日本を代表する作曲家の一人。北原白秋や三木露風らとの共同による『赤とんぼ』の歌曲や童謡を残している。交響曲やオペラも数多く残している。

◆◆◆菊田一夫  
1908年（明治41年）横浜生まれ。戦後、古関裕而とのコンビにより数多く世に送り出した。1961年に菊田脚本・演出により初演となった『放浪記』（音楽：古関裕而）は、今年森光子が単独主演2,000回を達成した。1975年には彼の業績を記念し、優れた演劇人に送られる「菊田一夫演劇賞」が創設されている。

戦後は、劇作家菊田一夫とのコンビによる仕事を始めとして、日本人を元気にする楽曲を多く世に送り出しました。ラジオドラマ『鐘の鳴る丘』『君の名は』などは戦後の苦難の中を生きたる多くの日本人に愛されました。平和を祈念した『長崎の鐘』、歌謡曲『高原列車は行く』（作詞は福島県小野町出身の丘灯至夫）のほか、1964年（昭和39年）には、東京オリンピックの行進曲『オリンピックマーチ』を作曲しました。その後札幌冬期オリンピックの音楽も担当し、古関裕而の音楽は世界の人々の耳に届きました。

## 現代に生きる古関裕而

裕而が生涯に残した曲は約5000曲。ポピュラー音楽の他にも、校歌や社歌も多く手がけています。裕而が亡くなったのは平成元年。平成に生まれた世代は、古関裕而という名前を知らない人もいると思います。しかし亡くなってから20年経った今でも、裕而の音楽はあらゆるところで愛されています。私たち日本人の体の何パーセントかは古関裕而の音楽でできていると言っても過言ではありません。古関裕而生誕100年の今年、偉大な音楽家の足跡をたどるのも、素敵で夏の過ごし方かもしれません。

## お知らせ

古関裕而生誕100年目にあたる今年、福島市内外で様々なイベントがごぞいます。詳細は別添の「古関裕而生誕100年記念イベント一覧」をご覧ください。ぜひお出かけください。



取材協力：古関正裕氏、福島市教育委員会、福島市古関裕而記念館  
 参考文献：『古関裕而自伝』『古関裕而鐘よ鳴り響け(人間の記録)(18)』(日本図書センター)

## 古関裕而ツーリズム

古関裕而にゆかりのある場所をいくつかご紹介します。ぜひお訪ねください。(ごく一部です。)



### 福島市古関裕而記念館

楽譜やレコード、写真など、ゆかりのものが数多く展示されています。  
 (入場無料、年末年始以外無休)  
 〒960-8117 福島市入江町1-1  
 電話 024-531-3012



### 高湯温泉(福島市)

裕而は水彩画を描くことを趣味としていましたが、高湯温泉の旅館の一つ、花月ハイランドホテルも描いています。高湯温泉は泉質が硫黄泉

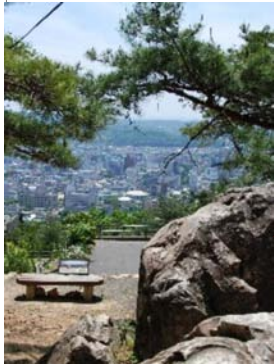
であり、エメラルドがかった白濁したお湯が女性を中心に人気を呼んでいます。



福島市大町にある古関裕而の生家跡。

### 飯坂温泉(福島市)

第二次世界大戦中、一時期家族とともに疎開していました。日本でも有数の歴史ある温泉地です。近隣には広大な果樹園が広がっています。温泉からさらに奥の茂庭地区は、ラジオドラマ『さくらんぼ大将』の舞台となりました。



### 信夫山(福島市)

福島市の真ん中にある信夫山の第一展望台に野村俊夫作詞の『暁に祈る』の碑があります。石碑には古関裕而作曲の楽譜も刻まれています。



### JR福島駅ホーム

新幹線ホームでは『栄冠は君に輝く』在来線ホームでは『高原列車は行く』のメロディが発車時に流れます。

## ファンクラブ 会員紹介コーナー

今回からの新しいコーナーです。

第一回目は、兵庫県伊丹市在住の内田勝雄(うちだかつお)さんを紹介します。



内田さん

浅川町出身で、関西福島県人会の副会長兼専務理事のほか、昨年からは「あつたかふくしま観光交流大使」を務めていただいています。

「観光交流大使として、どのような活動をされているのですか？」

例えば、須賀川牡丹園の苗は、兵庫県宝塚市から持ち帰られたものであるなど、関西にも、福島県とゆかりのある出来事が数多くあります。それらの出来事を周りの方に広く紹介するなどして、少しでも福島県と関西を結びつけ、交流につながるように努めています。

「今年は、関西でもなじみの深い古関裕而の生誕百周年ですが、曲に対するイメージなどを聞かせてください。」

関西では、阪神タイガースの応援歌である「六甲おろし」が有名ですが、個人的には、「栄冠は君に輝く」が好きです。関西福島県人会では、毎年、本県の甲子園出場校に対する激励会を開催していますが、その際、会場で流れる「栄冠は君に輝く」を聞くことが大変誇らしい気持ちになります。



甲子園激励会

「「ふくしまファンクラブ」の会報の中で良かった記事は？」

只見川の電源開発に尽力された白州次郎氏の記事について、大変興味深く読ませていただきました。その後、偶然にもツアーで兵庫県三田市にある白州次郎氏の墓を訪れる機会があり、参加者に福島県との縁について説明することができました。今後も、地道に福島県のすばらしさを伝えていきたいと考えています。



## ふくしまに住む

# Reason to Live in Fukushima



会津坂下町長井地区に広がる満開の大根畑

福島県に住む理由。日々特に意識しないで暮らしている人がほとんどかもしれません。今回は、飯豊山と会津磐梯山の両方を見ることが出来る豊饒の地、会津坂下町に生まれ、長年ヨーロッパで暮らした後、強い意志を持って会津坂下町にUターンし、養鶏業（農業）営んでいる山口英則さんをご紹介します。

### 家族との時間

山口さんは昭和45年生まれ。大学卒業後、海外にも拠点を多く持つ世界的な企業に就職し、イタリアに6年、フランスに3年と合計約9年間でヨーロッパで暮らしました。その間、平日は夜遅くまで働き、土日も出張が多かったりと家族と顔をあわせる機会も少なかったそうです。その反面、山口さんの周りのヨーロッパ人は、基本的に家族と過ごす時間が優先。遅くまで働くことは稀で、日本人のラ



鶏たちに愛情を注ぐ山口さん。

イフスタイルとの違いに驚いたといいます。そして次第に山口さんも、家族との時間を持ちたいと思うようになり、奥さんやお子さん、真剣にその方法について話し合うようになりました。「日本でなく、ヨーロッパでサラリーマン生活を送ったことが、Uターンを考えた大きな原動力になった」と山口さんは振り返ります。

### 庭先のナチュラルな卵

最も家族との時間が融通できる仕事は、農業ではないかと次第に考えるように



山口さんの「やますけ農園」全景。後ろの林が「やますけの森」。

なった山口さん。農業の形態について調べを進めるうち、食卓でよく使われている卵は、親鳥たちがストレスを余り受けない環境で産んでいるものが少ないことに気がつきました。そして山口さんが子どもの頃、お父さんがお米や野菜、割った貝殻など、身の回りであるエサを与えながら庭先で飼っていた鶏が産む卵をほしがる人が結構いたことを思い出し、そんなナチュラルな卵を作ることを思い立ちました。現在もお父さんは鶏を飼っていらっしやいます。

### 大応援団結成

「ヒヤヒヤしっぱなしだったよ」と話すのは、会津坂下町役場の吉良成子さん。一昨年に山口さんからUターンして農業したいという連絡をもらって以来、応援を続けてきた一人です。山口さんの実家は農業を営んでいたわけではなく、Uターンと言っても土地探しから始めなければなりません。土地のほかにも山口



応援団員の1人が設置した「やますけの森」に置かれたオブジェ

さんが超えなくてはならないハードルは多かったのですが、山口さんの苦境を見かねて、吉良さんだけでなく幼馴染の五ノ井智彦（地元酒店社長）さんをはじめとする地元の人、さらには東京や岩手など地域を超えた応援団が結成され、日に日に大きくなっていきました。ちなみに山口さんの農園名「やますけ農園」は、五ノ井さんが、山口さんの昔のあだ名にちなんで命名したものです。

### やますけ農園の卵、ついに市場へ！

平成19年暮れにフランスから帰郷後、さまざま準備を経て平成20年晩秋に雛鳥を購入。多くの人の心配



- ① 来場者に会津坂下のお酒の説明をする五ノ井応援団員。
- ② 次々とお料理がサーブされる様子。どの料理もおしゃれでした。
- ③ 「かき卵」オマールエビソースウニ添え卵の殻に入っていました。



### 初卵パーティー in 横浜

を集めながら、雛鳥たちは大きくなり、厳しい冬を乗り越え、この春ついに初卵を産みました。もちろんこの慶事を大応援団たちが放っておくわけがありません。大応援団の尽力により、4月22日初出荷を祝うパーティーが、横浜市元町にあるフレッチレストラン「ラール＆ブルーランジェリー」レサンス」で大々的に開催されました。多くの人の夢が詰

まった「初卵」は、会津坂下町産の野菜やヨーグルトとともにこの夜素敵なフレッチに生まれ変わって、参加者の胃袋とハートを満たしました。やますけ農園の卵は現在では「初卵」の段階からステツプアップし、農園の地名にちなんで「会津長井生（あいながいき）卵」と命名され販売されています。普通の卵よりお値段は張りま

### ■ やますけさんの夢

すがこだわりの逸品です。

「今考えてみれば少し無謀だったかも」と照れながら話す山口さん。卵が出荷できるようになったことを喜ぶと同時に、助けてくれた多くの人たちへの感謝の言葉を何度も口にされました。温かい人、いや熱い人が多いこの町に戻ってきたことを心から喜んでいました。

「加工品」「鳥骨鶏の飼育」など、今後の展望をいろいろ語ってくださいました。中々印象的だったのは「交流」でした。農園の端にある所有林、通称「やますけの森」を整備して、町の人や他の地域から来た人たちがゆっくり休んだり、何か体験できるような仕掛けを応援団の人たちと一緒に考えている最中だそうです。山口さんによれば、福島県の魅力は大都会にはない癒しがあること。これからはやますけさんが多くの人に癒しを提供してくれそうです。

### ふるさと暮らし相談窓口だより ～東京銀座・ふるさと暮らし情報センター～

歌舞伎座隣の七十七ビル3階のセンターで、藤田久珠（ふじたくみ）さんが平成19年4月から2年余り福島県の担当として相談業務や福島県関係のふるさと暮らしセミナー関連の業務などにあたってこられました。このたび担当が星久美子（ほしくみ）さんに変更になりました。

お2人は区民農園で野菜を栽培中。ふるさと暮らし相談も親身に相談に乗っていただいています。藤田さんが関わった相談者の方で実際に福島県に移住された方もいらっしゃいますが、藤田さんが担当を離れることに関係者の方々などから惜しまれる声も・・・

星さんは、福島県の会津方部のご出身で、「田舎を元気にしたい」という思いから、かねてからセンターでボランティアなどをされてきました。只今藤田さんから引継を受けていますが、気合十分！今後ともよろしくお願います！



藤田さん（左）と星さん（右）

### ● 山口さんのブログ紹介

ネットショップにもリンクされていますので、やますけ農園の卵をインターネットで注文することもできます。

「やますけ農園」  
URL: <http://yamasukenouen.aizu-aizu.com/>  
(「やますけ」で検索)

### ～会津でやますけ農園の卵を買おう～



五ノ井酒店 ※1



百姓HOUSE ※2

### ～東京でやますけ農園の卵を食べよう～



蕎楽亭（きょうらくてい）  
東京都新宿区神楽坂3-6  
神楽坂館1階  
電話03-3269-3233  
だし巻き卵は「やますけ農園の卵」と御指定ください

# ちいき紹介

## 浪江町津島地区

### ロッジ&山小屋 つしまのとくさん

「ほんとうの田舎です」  
ファンクラブ会員特典として、会員証提示で宿泊料10%割引！

「とくさん」ホームページでも紹介されている、まさに「ひと山がお庭」。大阪御出身のオーナー（とくさん）は、田舎暮らしを始めて5年。御夫婦で切り盛りしていらつしやいます。

宿泊施設はロッジ、山の家、山小屋2棟の計4棟。食事付か自炊か選べます。



とくさん御夫妻

ロッジが1番人気で、カップルや親子での利用が多いとのこと。

ロフト付、ハンモックもあるの  
で、ひたすら寝  
て過ごすお客さ  
んもいらつしや  
るとか。山の家  
は小グループや  
若者向けです。  
グランドピアノ、  
暖炉もあります。  
ドッグラ  
ンもあるの  
びのび走り回れ  
ます。目的  
はいろいろです  
が、ゆったり  
とした時間と自  
然を満喫  
したい人には  
ぴったり。

### ロッジ&山小屋つしまのとくさん

住所：双葉郡浪江町南津島字大柳53-1

電話：0240-37-2300

http://www16.plala.or.jp/T-tokusan/

### ほのぼの市

もあり、また、盆や彼岸の時期にはリンドウの花も販売しています。

津島活性化企業組合で運営している直売所です。人気商品は九重栗かぼちゃを使った「かぼちゃまんじゅう」。「じゅうねんまんじゅう」も福島県で開発した小麦粉「きぬあづま」を使っています。餡もすべて手製で1個100円。組合で加工している健康に良いアルファリノレン酸を豊富に含んだエゴマ油（お試しサイズもあり）、本場韓国仕込みの手作りキムチなども人気です。

季節により山菜やキノコ



大柿さん(左)と紺野さん(右)

問い合わせ：津島活性化企業組合  
住所：双葉郡浪江町字下津島松木山22番地の1  
津島活性化センター内 電話 0240-36-2112

## 福島県八重洲観光交流館 7月open!

東京駅八重洲口の八重洲ブックセンター近くに、「福島県八重洲観光交流館」がいよいよ7月にオープンします。

観光情報の発信のほか、銘菓をはじめとする県産品の販売、生ジュースやソフトクリームなど飲食の提供を行います。

皆様是非お越しください。

詳しくは別途御案内いたします。

## 観光有料道路セット券発売中

磐梯吾妻スカイライン 磐梯山ゴールドライン  
磐梯吾妻レークライン

9月30日まで



普通車が3,230円のところ2,700円で530円のお得、軽自動車等が2,310円のところ1,900円で410円のお得！提携施設での割引、プレゼントがもらえる特典付。特典の利用は期間限定ですが、通行券としての有効期限はありません。さらに、応募券で合計200名様にさまざまな商品が当たります。

有料道路各ゲートでも発売中！  
詳しくは  
http://www.dorokosha-fukushima.or.jp/を御覧ください。

■問い合わせ先  
福島県道路公社企画室 電話 024-521-5530

## ふくしまのうまいもん プレゼント

応募された方の中から抽選で1名様に果汁飲料「もも日和」24本入り1箱(1ページ参照)と、3名様に南郷トマト(3ページ参照)をプレゼント！



もも日和イメージ

応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、御希望の品(もも日和もしくは南郷トマト)、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 7月15日(水)必着

あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

福島県観光交流課  
ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

\*当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。